

三彩壺

指定区分	国指定重要文化財(考古資料)
読みかた	さんさいつぼ
所在地	倉敷市中央 倉敷考古館
指定年月日	平成1年6月12日
解説	奈良時代に製作された「奈良三彩」と呼ばれる陶器。高さ約21.3cm。色調は緑色を基本に置き、白・褐色を斑点状に施している。保存状態の良い優品で、明治時代に津山市内の古墳から陶棺とともに出土したと伝える。
アクセス方法	JR倉敷駅から徒歩約10分
公開状況	倉敷考古館〔入館：9時～16時30分(3～11月は17時)／休館：月・火曜日(祝休日の場合は開館)／有料／電話番号：086-422-1542〕
設備	トイレ 
備考	展示してある倉敷考古館は、倉敷美観地区にある名所の一つとして知られています。

きつずページ

していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(考古資料)
ぶんかざいめい (文化財名)	三彩壺
よみかた	さんさいつぼ
しょざいち (所在地)	倉敷市中央 倉敷考古館
していつひ (指定した日)	平成1年6月12日
せつめい	奈良時代(ならじだい)に焼(や)かれた「奈良三彩(ならさんさい)」と呼(よ)ばれる陶器(とうき)です。明治時代(めいじじだい)に津山市内(つやましない)の古墳(こふん)から出てきたといわれています。